

授業評価アンケートに御協力いただきありがとうございました。  
自由記述のコメントについて、お答えします。

【刑事学各論】

第1 キーワード入力について <今学期から改善しました。今後も維持します>

1 昨年度、受講生から、録音データを全て聴かずにミニレポートを提出する受講生がいるのではないかというご懸念を伝えられました。

そこで、春学期から、ミニレポートの提出の条件として、授業内で伝えるキーワードを入力してもらうことにしました。

アンケートの回答では、きちんと授業を聴いていることを評価するシステムであり、キーワードの聴き洩らしがないように集中できるなどの肯定的な意見が圧倒的な多数を占めました。

文部科学省の考えでは、15回の授業のうち7回までを遠隔形態で実施しても対面授業として扱うとのことですので、来年度も、教育効果に鑑み、少なくとも授業の一部(7回まで)を遠隔授業とする予定です。その際には、キーワードを入力してもらう方式を継続したいと考えています。

2 キーワード入力については、春学期のアンケートでキーワードの個数を明示してほしいという意見がありました。

そこで、今学期は、キーワードの個数を入力画面でお伝えするようにしました。この点についても、好評でしたので、継続したいと考えています。

3 キーワードを他の受講生から尋ねられるという話もうかがいました。私も当初から心配していた点ではありますが、真面目に取り組んでいる受講生に無用の負担にならない実効的対策が思い浮かびません。よい対策があれば、LMSのメッセージでぜひご教示ください。

第2 LMSのトップ画面への提出物の締切間近の表示について

<今学期から改善しました。今後も維持します>

今年度から、LMSのログイン後のトップ画面に提出物が締切間近であることが表示されるようになったようです(教員側は設定できず、システムが自動的に表示しているようです)。

ところが、システム上、ユニット(複数の教材を連続して提示する方式)を組んでいる場合、提出物が締切間近であると表示されません。キーワード入力をしてもらってからミニレポートとして質問を入力してもらおうと思うと、システム上、ユニットを組まざるを得ません。システム管理者に改修依頼をしても、返信までに何か月もかかったり、返信がもらえなかったりする状況ですので、いつ改修されるか不透明な状況にあります。

そこで、今学期はミニレポートの締切と同じ日時を締切とするダミーの教材を作

成し、ログイン後のトップ画面に提出物が締切間近であることが表示されるように試みました。また、スケジュール管理や進捗管理のためにミニレポート提出後に上記表示を消すために、ダミーの教材で選択肢を選択することで上記表示を消すことができるようにしました。

この方法は好評でしたので、継続したいと考えています。

### 第3 録音データとレジュメの提供方法について

＜今学期から改善しました。今後も維持します＞

- 1 昨年度のアンケートを踏まえて、今年度から録音データもレジュメもDropboxで提供するようにしました。

倍速再生もしやすいなどの理由で受講生から好評でしたので、今後もDropboxで提供したいと考えています。

- 2 また、今年度は、10～30分程度の区切りのよいところでファイルを分割するように心掛けました。

ファイル数が増えてしまい使いにくいという声もありましたが、勉強しやすいという意見のほうが多かったため、今後も同じようにしたいと考えています。

- 3 複数の週にまたがるテーマの場合の録音データとレジュメについては、今年度から複数の週にまたがるテーマの場合（例えば、第3～4回の犯罪被害者）、全てのファイルとレジュメをまとめて提供しました。

春学期のアンケートで2週に分けて聴きたい場合にどこで区切れればよいか分からないという声もいただきましたので、今学期は1週間分がどのファイルまでかという目安を示すこととしました。

この点についても、好評でしたので、継続したいと考えています。

### 第4 授業の録音データとレポート・ミニレポート課題の提供時期について

＜今学期から改善しました。今後も維持する方向です＞

- 1 今学期も、授業の録音データ・レジュメとミニレポート課題を学期初めに全て提供しました。

受講生からは、自身のスケジュールにあわせて、授業を聴いたり、レポート・ミニレポートに取り組んだりできるとして、今学期も大変好評でした。

今後も今学期と同じようにできる限り早めに録音データ・レジュメとミニレポート課題を提供したいと考えています。

- 2 一方、春学期のアンケートで学期中のレポートの課題についても、学期初めに公開してほしいとの声が少なくありませんでしたので、今学期は授業の録音データ・レジュメとミニレポート課題とともに学期初めに公開しました。

学期中のレポートの課題の内容にもよるので、毎学期そのようにできるかは確約できないのですが、来年度以降も早めに公開する方向で対応したいと考えています。

### 第5 ミニレポートとフィードバックの内容について <今後も維持します>

ミニレポートとして授業内容に対する質問を書いてもらうことは、質問を考えながら録音データを聴くことにつながるなどとして、今学期も好評でした。

また、質問に対してフィードバックで回答するという方式も、授業で触れられなかった内容を知ることができるなどとして、大変好評でした。他の受講生のレベルの高さを感じてやる気が出たといううれしい声もいただきました。フィードバックの際に自身の質問が取り上げられて、学習へのモチベーションが上がったとの声もいただきました。

一方で、フィードバックの時間を一定程度に抑える観点から、全ての受講生の質問を取り上げることができず、申し訳ない気持ちでいっぱいです。

少なからぬ受講生に推測していただいたように、教員としては負担が比較的大きかったことは事実です。しかし、私としては、受講生がどのような点に疑問を持つのか知ることができ、大変有益でした。

今後も同様の方式を継続する予定です。

## 第6 レジューメのナンバリングについて <検討します>

APA（アメリカ心理学会）論文執筆要領で提唱されているナンバリング方法に従って講義資料を作成すると識別を容易にするという点で改善が図れるのではないかとのご意見をいただきました。

ナンバリングについては、専門領域ごとに慣行がありますので、法学部の専門科目では、心理学の慣行ではなく、法律学の慣行に沿うことが望ましいと考えます。

その際、参考になるのは、公文書並びに起訴状及び訴状等の書面において利用されているナンバリングです。すなわち、

第1、第2……→1、2……→(1)、(2)……

の順でナンバリングするというものです。

この授業では、各講が事実上、第〇に当たることから、その下の1、2……からナンバリングを始めています。ただ、第〇からナンバリングを始めてもよいのかもしれない。

今後どのようにするのがよいのかについては、検討したいと思います。

皆さんの御意見を参考に授業をよりよいものにしていきたいと思っております。